



にちりんこう
「日輪煌」

三尻中学校だより

学校教育目標 ・ 思いやりのある生徒 ・ 自ら学ぶ生徒 ・ 進んできたえる生徒

今年度のスローガン 「イノベーション、次の未来へ」

5月1日（月）、授業参観・部活動懇談会・PTA総会・学校評議委員会が開催されました。



新年度がスタートして、早1ヶ月が経ち、新緑の眩しい季節となりました。新入生は、徐々に小学生気分が抜け、立派な中学生になってきました。2年生は、よき先輩となるべく、学習や部活動で切磋琢磨しています。3年生は三尻中の伝統をしっかりと引き継ぎ、堂々たる姿を見せてくれています。三尻中の伝統のひとつに、今年のスローガンに復活させた「挨拶と歌声の響く学校」があります。そのスローガンが示すとおり、登下校や学校ですれ違う際には、生徒と教師双方から元気な挨拶が自然と交わされています。挨拶は「されるより先にする」と言われますが、そんなことが率先されている三尻中生です。先日も、地域の方から「よく挨拶をしてくれるのでうれしくなってきました」と声をかけていただきました。有難いことです。本当にうれしいことです。また、職員室で静かに耳を澄ましていると、美しいハーモニーが聞こえてきます。それは歌だけではなく、吹奏楽部の軽やかな演奏も聞こえてきます。私たちは心洗われる気持ちになります。この良き伝統を、次の未来に引き継いでいきましょう。薫風漂う春5月。鯉のぼりのように、大空に大きく、逞しく舞い上がりましょう。

～授業参観～

新年度になって、最初の授業参観でした。1年生、2年生は、道徳の授業を参観していただきました。3年生は、6月に実施される修学旅行の説明会を行いました。道徳の授業は、御承知のとおり、平成27年3月27日に学校教育法施行規則が改正され、「道徳」から「特別の教科である道徳」となりました。改正される中学校学習指導要領では、平成27年4月1日から移行措置として、その一部又は全部を実施することが可能となり、平成31年4月1日から全面実施することになっています。

この道徳の教科化の背景には、いじめ問題への対応を充実させることや、問題解決的な学習を取り入れるなど指導方法の工夫を図ることがあります。発達の段階に応じ、答えが一つではない道徳的な課題を、一人一人の生徒が自分自身の問題として捉え、「考える道徳」、「議論する道徳」へと転換を図るものとなっています。

三尻中学校でも、道徳教育の充実を図るため、学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育と、その要としての道徳の時間の役割を明確にしています。また、生徒の道徳性を養うために、適切な教材を用いて確実に指導を行い、指導の結果を明らかにして、その質的な向上を図ることができるよう取り組んでいます。さらに、道徳教育の基本的な考え方を今後も引き継ぎ、効果的な指導を学校の教育活動全体を通じてより確実に展開できるよう、道徳教育の目標をより分かりやすい表現で示すなど、教育課程の改善を図っています。

～修学旅行説明会の校長講話より～

いよいよ、約1ヶ月後の6月10日（土）、11（日）、12（月）は、修学旅行です。本年度のスローガンは、実行委員の皆さんが考えてくれた、『和の心 永久に結ぼう 絆の輪 伝統に学ぶ 伝説の旅』に、決定しました。

さすが、伝統ある三尻中学校だけあって、スケールの大きいスローガンを考えてくれました。この修学旅行で触れる日本の『伝統文化』は、祖先からの知恵の結晶です。そして、私たち日本人の精神は、「和」の精神ともいわれます。「和」というと、妥協とか馴れ合いをイメージする人もいるでしょう。しかし、「和」の精神とはそんな単純なことではありません。ここにいる皆さんは「和」というと、2年前の社会科の歴史の授業を思い出すに違いありません。そう、聖徳太子です。聖徳太子は、十七条憲法の第1条で「和を以て貴しとなす」と説きました。太子のいう「和」とは、単に仲間うちで仲良くやっていくということでは決してありません。太子の憲法の第1条は「上和らぎ、下睦びて事を論（あげつら）ふに諧（かな）ひぬるときは、則ち事理自ら通ふ。何事か成らざらむ」という言葉で結ばれています。つまり、「和」の心をもってお互いに話し合えば、そこに自ずから物事の「理」が通うのだ、「和」の心をもってすれば、できないことなどあるのか、というのです。



さて、「和」を、スポーツで考えると、チームワークが重要となります。つまり、チームの調和です。チームがまとまっていると、メンバー個人個人の能力以上の力が出せます。いくらメンバー各自が優秀でも、チームがばらばらでは、力が出せません。グループ・チーム・集団で行動することも多い修学旅行です。チームの呼吸が合っていると、1+1=2ではなく、3にも4にもなります。呼吸が合っていないと、2どころか、0.7、0.5にもなりません。つまり、修学旅行の取り組みをひとつのチームと考え、この行事を、皆さんが望む「伝説の旅」に昇華させるためには、皆さんの心をひとつにするという「和」の精神が大切なのです。三尻中学校が、ひとつのチームとして「和」をもって団結するならば、想像できないほどの潜在能力が発揮され、きっと、想像を絶するような、絶妙なプレーが生ま



れるに違いありません。修学旅行を単なる「お楽しみの旅」のひとつにしないためにも、個を超える集団としての意識が、結果的には、一人ひとりに大きな思い出を残すだけでなく、集団としての軌跡を残すことにつながると思います。調和は、集団を一体化させ、創造力を生み出します。「和を以て貴しとなす」この言葉を心に刻み、私も三尻中学校のチームの一人として、皆さんとの絆を深めて行きたいと思います。皆さんと一緒に、この「伝説の旅」に同行できる喜びを噛み締めるとともに、保護者の方々に感謝したいと思います。「ありがとうございます」。そして、皆さんがこの修学旅行を終えたとき、次につながる何かをしっかりと掴み、それぞれの家庭に戻り、この三尻中学校に帰ってきてくれることを心から期待しています。皆さんのチームプレーに、大いに期待しています。

～PTA総会～

昨年度、大いに飛躍した三尻中学校です。学習面でも部活動でも大きな成果を収めてくれました。それは何よりも生徒の皆さん一人ひとりのたゆまぬ努力の結果ですが、それを支えた教職員あつてのことと思います。そして、その土台を精神面、経済面から支えてくださったのが保護者・PTAの皆様方です。本当に感謝の言葉しかありません。5月1日、藤本倫子会長を中心とした28年度役員の方々から、新会長に就任されました高橋恵理子さんを中心としたPTAの方々に交代し、29年度がスタートしました。今後ともどうぞよろしく願いいたします。

～学校評議委員会～

本年度、第1回の学校評議委員会が授業参観と並行して開催されました。構成員は、根岸 精一さん、村岡 充子さん、平松 忠章さん、新島 謙一さん、小野寺 亀松さんの5名です。学校の教育活動に対して多面にわたり支えてくださる方々です。どうぞよろしく願いいたします。

大活躍!!!各部の活動

～第4回 吹奏楽部 定期演奏会～

ゴールデンウィーク期間中は天候にも恵まれ、各部の健闘が光りました。その中で、5月4日(木)さくらめいと「月のホール」で、三尻中学校吹奏楽部の定期演奏会が、大勢の方をお招きし、盛大に実施されました。プログラムは3部構成で、第1部は昨年NHKの大河ドラマ「真田丸」のメインテーマからスタートしました。「バラの謝肉祭」など大変難しい曲と、その他2曲を丁寧に演奏してくれました。第2部では、木管7重奏、金管8重奏による演奏、そして、2年生による「キセキ」、3年生による「Paradise Has No Border」を披露してくれました。1年生は今回は演奏は無くお手伝いでしたが、1年後にはきっと立派にステージに立って演奏してくれることでしょう。第3部は「となりのトトロ」のハイライトや、大ヒット映画のテーマ曲「君の名は」などの演奏で、会場を盛り上げてくれました。顧問の内田先生、斎藤先生もホットした表情を浮かべていました。応援に駆けつけてくれた関田先生や荻原先生も感動していました。保護者の方々も楽しいひと時を過ごしていただいたことと思います。



6月の予定

日	曜	行事
1	木	内科検診2年・1年345組・KGの日・くまなびスクール
2	金	前期中間テスト
3	土	
4	日	
5	月	《芒種》
6	火	全校朝会
7	水	登校指導
8	木	振替休業日(6/10分)
9	金	修学旅行事前指導・朝3年荷物積み込み
10	土	3年修学旅行①・1、2年授業日・弁当持参
11	日	3年修学旅行②・1、2年授業日・弁当持参 《入梅》
12	月	3年修学旅行③・1、2年授業日 前期教育実習開始
13	火	振替休業日(6/11分)
14	水	県通信陸上
15	木	生徒会の日・県通信陸上
16	金	漢字検定(放課後)
17	土	
18	日	
19	月	
20	火	生徒朝会(学総激励会)★木曜日課
21	水	★金曜日課 《夏至》
22	木	学総中心日
23	金	学総中心日
24	土	
25	日	
26	月	
27	火	学総(水泳)
28	水	
29	木	学総(陸上)
30	金	前期教育実習終了

6月によせて…

○6月を水無月(みなづき)と言います。「水の無い月」と書きますが、水が無いわけではありません。水無月の「無」は、神無月の「な」と同じく「の」にあたる連体助詞「な」で、「水の月」という意味だそうです。陰暦六月は、田に水を引く月であることから、水無月と言われるようになったそうです。また、英語名ではJuneと言います。ローマ神話のユピテル(ジュピター)の妻ユノ(ジュノー)から取られたよすです。そして、ユノが結婚生活の守護神であることから、6月に結婚式を挙げる花嫁を「ジュン・ブライド」(June bride、6月の花嫁)と呼び、この月に結婚をすると幸せになれると言われています。きっと、保護者の方の中には、6月に結婚された方も沢山いらっしゃると思いますが…?

○6月は…祝日が存在しない月!です。日本では6月は祝日がない唯一の月となっています。また、過去にもこの月に祝日が存在したことはないようです。これは、天皇家由来の節目の日もなく、庶民の生活も農繁期でハレの行事がなかった点が影響しているようです。雨の時期に入ります。健康管理に十分に気を付けて、体調を崩すことのないように、食事・睡眠・休養をしっかりとってくださいね。